



WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年10月15日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 内記・佐藤 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2021年9月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2021年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホーム（以下「特養」という。）を運営する社会福祉法人 525 法人
- 調査事項：社会福祉法人および特養の業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響
- 回答数：442
- 有効回答数：442
- 有効回答率：84.2%
- 実施期間：2021年9月6日（月）～2021年9月27日（月）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況判断のDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、3となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から4%ポイント上昇し、△5となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から4%ポイント低下し、12となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から1%ポイント低下し、△7となった。
- 従業員数のDIは、前回調査とから2%ポイント低下し、△58となった。

【特養の動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、△5となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から2%ポイント低下し、11となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から6%ポイント低下し、△52となった。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

- 2021年度上半期（2021年4月～9月）において、サービス活動収益が減収（1割以上減）となった特養の割合は前年度（2020年度）同期比で17.0%、前々年度（2019年度）同期比で19.9%となった。
- 特養の短期入所収益が減収（1割以上減）となった割合は前年度（2020年度）同期比で32.4%、併設通所収益が減収（1割以上減）となった割合は前年度（2020年度）同期比で38.4%となった。
- コロナ患者の施設内療養を受入中または受入実績ありと回答した特養の割合は8.6%となった。

以上